

綾瀬市の歴史

1	平安時代後期～鎌倉時代頃まで綾瀬地方を支配していた武士の一族がいましたが、鎌倉幕府の御家人になった武將は誰でしょうか。	① 渋谷重国 ② 梶原景時 ③ 大庭影親 ④ 佐々木秀義
---	---	---------------------------------------

① 渋谷重国

渋谷重国は、平清盛が源義朝に勝利した平治の乱(1159年)以降は平氏方に立ちつつ、敗れて流浪した源氏一族の佐々木秀義を保護しました。源頼朝が挙兵すると、佐々木兄弟が源氏方として行動することを黙認するなど、関東での平氏勢力の追放に助力し、鎌倉幕府成立とともに有力御家人に列しました。渋谷一族は、平安時代後期に綾瀬一帯の荘園「渋谷荘」を統治していた豪族であり、現在の早川城跡は渋谷氏の館跡と伝えられています。

2	1271(文永8)年、佐渡に流される途中、深谷字落合の「びわみ堂」で休息したと伝えられる聖者は誰でしょうか。	① 日蓮 ② 親鸞 ③ 法然 ④ 菅原道真
---	--	--------------------------------

① 日蓮

深谷字落合の森(比留川と落合小学校の間)に「びわみ堂」というお堂がありました。日蓮上人が1271年佐渡に流刑される途中、このびわみ堂で休息したと伝えられています。その後、お堂は大法寺に移されました。また、このびわみ堂のあった森は、「中世の墓地」と言われ、板碑(いたび)等が発見されています。板碑は2014年に市指定文化財に指定されました。落合地区に「びわみ堂」という名前のコミュニティバスの停留所があります。

3	上土棚中の熊野社には、大絵馬が8点奉納されています。その中に、年代が明確な中で最古の1823年に奉納された絵馬がありますが、それはどれでしょうか。	① 義経のひよどり越えの逆流としての図柄 ② 牛若丸と弁慶五条大橋の図柄 ③ 火攻めにあう日本武尊の図柄 ④ 熊野の八咫鳥(やたがらす)
---	---	---

② 牛若丸と弁慶五条大橋の図柄

熊野社は上土棚の鎮守です。祭神は熊野三神で、本殿・拝殿・棟札および絵馬は市の指定文化財になっています。棟札によると本殿は1727年に、拝殿は1830年にそれぞれ再建されています。市内にある拝殿としては、江戸時代までさかのぼれる唯一の建物です。大絵馬で最初に奉納されたのは、牛若丸と弁慶五条大橋の図柄の絵馬で、1823年に奉納されました。※熊野三神(速玉男命(はやたまのおのみこと)、伊邪那美命(いざなみのみこと)、黄泉津事解男命(よもつことさかのおのみこと))

4	お銀さまは江戸時代後期、田原藩主三宅康友の寵愛(ちようあい)を受け、側室になりました。お銀さまの墓はどこにありますでしょうか。	① 落合地区 ② 吉岡地区 ③ 小園地区 ④ 寺尾地区
---	---	--------------------------------------

③ 小園地区

お銀さまは本名「まち」といい、早川村の幾右衛門の娘でした。三河国の田原藩(現在:愛知県田原市)の江戸屋敷へ奉公に上がり、藩主康友に見初められ、友信(幕末期の藩主 康保の父)という男子を産みました。お銀さまは、帰郷したあと二度と江戸屋敷に戻ることなく、その後、小園村の大川家に嫁ぎました。田原藩の渡辺華山が残した旅の記録「游相日記」には、お銀さまを訪ねた様子が情緒豊かに描かれています。

5	横浜市や鎌倉市でとれた塩を遠く甲州まで運んだ塩つけ道がありました。一部が市内に残っていますがどの地域でしょうか。	① 小園 ② 早川 ③ 吉岡 ④ 蓼川・本蓼川
---	--	----------------------------------

④ 蓼川・本蓼川

綾瀬市内の塩つけ道は、八王子道とも呼ばれ、大和市福田から本蓼川村・蓼川村を通り座間市栗原に至る広域流通路で、塩のほか種々の物資や人が行きかいました。現在は、厚木基地や東名高速道路の建設で分断され、広域流通の機能は失われましたが、その一部が蓼川2丁目や本蓼川に市道として残っています。蓼川は昔開墾して新田がつくられたところで、立川野だった地名を蓼川新田と改め、後に新田を取り除き蓼川村となりました。読みは「たてかわ」と呼ばれてきました。

6	弥生時代後期に東海地方から人々が集団移動したことを証明した遺跡がありますが、どこでしょうか。	① 宮久保遺跡 ② 寺尾遺跡 ③ 神崎遺跡 ④ 吉岡遺跡群
---	--	--

③ 神崎遺跡

神崎遺跡は、弥生後期の遺跡で今から約1800年前の環濠集落(周囲に溝を巡らしたムラ)です。この地から出土した土器のうち95%以上が東海地方の土器の形態に酷似していることから、東海地方の人々が200km以上の距離を集団移住したことなどが明らかになった貴重な遺跡です。綾瀬市だけでなく、日本の歴史に必要な遺跡の発見となったのです。2011年2月に綾瀬市初の国史跡に指定され、2016年には神崎遺跡資料館が開館しています。

7	綾瀬地域に人類が約4万年くらい前から生活していた証拠が発掘されました。その遺跡はどこでしょうか。	① 宮久保遺跡 ② 吉岡遺跡群 ③ 上土棚遺跡 ④ 天神森遺跡
---	--	--

② 吉岡遺跡群

吉岡遺跡群は、綾瀬浄水場の建設ともなう発掘調査の結果、約4万年前の旧石器時代の遺跡であることが判明しました。これは、南関東最古級の遺跡で、神奈川歴史博物館の常設展「原始・古代「さかみの古代に生きた人びと」」はこの吉岡遺跡群の石器からはじまっています。また、約2km離れた藤沢市用田鳥居前遺跡の出土石器と接合した石器もあり、旧石器時代の人々の交流を知る上で貴重な遺跡です。

8	狩猟採集社会であった旧石器時代から縄文時代にかけて、綾瀬には多くの遺跡が残されています。旧石器時代の遺跡は市内に何カ所あるでしょうか。	① 7カ所 ② 13カ所 ③ 31カ所 ④ 46カ所
---	---	-------------------------------------

④ 46カ所

相模野台地は、全国的にも著名な旧石器時代の遺跡が密集する地域です。綾瀬市はその相模野台地の南部に位置し、46カ所もの遺跡が発見されています。代表的な遺跡では、吉岡遺跡群、寺尾遺跡、早川天神森遺跡、地藏坂遺跡などがあります。

9	春日局が綾瀬市の歴史に深く関わっています。その春日局の位牌(いはい)と使っていた茶臼・茶釜が宝物としてあるお寺はどこでしょうか。	① 龍洞院 ② 長龍寺 ③ 神明寺 ④ 済運寺
---	--	----------------------------------

④ 済運寺

春日局は3代将軍徳川家光の乳母で、吉岡村をはじめ高座郡内に3千石の化粧料(所領)を得ました。済運寺の近くに局の御殿があり、家光の代参で大山詣をしたときなどに宿泊していたとも言われています。こうした関係から局の位牌と局が使った茶臼と茶釜が済運寺にあるのです。

10	綾瀬村は、深谷・本蓼川・蓼川・寺尾・小園・早川・吉岡・上土棚の8つの村が合併して誕生しました。その合併の年はいつでしょうか。	① 明治2年 ② 明治22年 ③ 大正2年 ④ 大正12年
----	--	--

② 明治22年

この時代には明治の大合併が全国で行われ、71314町村(明治21年)が15859市町村(明治22年)となりました。1889(明治22)年、深谷・本蓼川・蓼川・寺尾・小園・早川・吉岡・上土棚の8つの村が合併し綾瀬村となりました。その当時の綾瀬村の人口は4447名で、世帯数は793世帯でした。ちなみに、綾瀬町の誕生は1945年、綾瀬市の誕生は1978年です。

11	江戸時代中頃から小学校ができるまで、寺子屋(主に読み・書き・そろばんなどの学習するところ)という場所がありました。綾瀬市内には2カ所ありましたが、大法寺ともう一カ所はどこにあったでしょうか。	① 五社神社 ② 延命寺(小園地藏堂) ③ 長龍寺 ④ 龍洞院
----	---	--

② 延命寺(小園地藏堂)

江戸時代中頃から全国に小学校ができるまでの約100年間、寺子屋という場所がありました。小園地藏堂があるところは、もと東光山延命寺といい、海老名の国分寺の隠居寺だったと伝えられています。江戸時代の後期から明治5年の学制の発布により国分小学校ができるまで寺子屋として使用されていました。最も古い筆子塚(寺子屋の生徒が師匠のために建てた墓)は、金子文績さんのもので、生徒が「小園村40人、上早川村12人、国分村2人、下溝中山村(現:相模原市内)6人」という記録が残っています。

12	たいへん重要な史料である「木簡」が綾瀬市の遺跡から出土しました。この木簡は、県指定重要文化財に指定されていますが、どここの遺跡から出土したのでしょうか。	① 宮久保遺跡 ② 早川遺跡 ③ 寺尾遺跡 ④ 上土棚遺跡
----	--	--

① 宮久保遺跡

宮久保遺跡は、1981(昭和56)年～1984(昭和59)年の綾瀬西高等学校建設に伴い県立埋蔵文化財センターによって発掘され、旧石器時代から近世にかけての遺跡が発見されました。木簡は7世紀～8世紀を中心に紙と並んで使用されましたが、発見された木簡には、「天平5年5月」(天平5年は733年)と書かれています。その木簡の表には稲を納めた鎌倉の人と、裏にはそれを取り扱った2人の役人の名前が記されています。(当時は紙が貴重であったため、荷札として使われていたと考えられています)

13	第2次世界大戦直後の厚木飛行場に降りたった連合国軍最高司令官はだれでしょうか。	① ミッツ元帥 ② アイゼンハワー大統領 ③ マッカーサー元帥 ④ トルーマン大統領
----	---	---

③ マッカーサー元帥

1945(昭和20)年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し終戦を迎えました。8月30日にコーンパイプ片手に連合国軍最高司令官マッカーサー元帥が厚木飛行場に降りた連合国軍による日本の統治が始まりました。ダグラス・マッカーサーは、東京にGHQ本部を置き、日本に約2000日いる間に戦後日本の民主化の基礎を作った人です。1950年の朝鮮戦争対応でトルーマン大統領と対立し、GHQ最高司令官を解任されて1951年4月に帰国しました。帰国後のアメリカ議会での演説で「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」との名言を残しています。

14	五社神社の本殿のすぐ後ろには、市の指定文化財の樹齢400年、高さ20mの御神木が真っ直ぐに伸びています。この御神木は何の木でしょうか。	① 松 ② 椎(しい) ③ 杉 ④ イチョウ
----	---	---------------------------------

② 椎(しい)

五社神社は平氏の一族でその後鎌倉幕府の御家人になった渋谷一族の総鎮守でした。本殿の裏側に椎の木と御神木があり、その椎の太木は1981(昭和56)年に市内で初めて市文化財に指定されています。また本殿と棟札9枚も、1989(平成元)年に市文化財に指定されました。境内には、日本武尊が腰かけたと言われる日本武尊御腰掛石や、尾ノ井(境内の形が亀の甲に似ていて池がその尾の位置にある)もあります。1984(昭和59)年5月、浩宮殿下が来られました。

15	中世の山城と言われる早川城址での発掘調査では、多くの遺構が見えましたが、その調査で発見されなかったものはどれでしょうか。	① 井戸 ② 堀切・土塁 ③ 物見塚 ④ 曲輪
----	--	----------------------------------

① 井戸

早川城は中世(鎌倉時代～戦国時代)の城と言われる、地元では古くから「城山(じょうやま)」と呼ばれ、鎌倉時代の御家人、渋谷一族の城と伝えられていました。しかし、文献資料がないことから、その実態は明らかではありませんでした。そこで、綾瀬市教育委員会が、1989(平成元)年から1994(平成6)年にかけて学術調査を行いました。その調査で、堀切、土塁、物見塚、曲輪等、多くの城郭関連遺構が発見されました。県内でも保存状態の良い中世の城郭であることから、市の指定文化財になっています。